

勉強法を知らない子供達⑫

(4)生徒

「テストのとき周りが気になって集中できません。問題冊子をめくる音、鉛筆の力加りする音……。」

回答 「マックとかうるさい所でやってみるといいよ。」「気にしすぎだよ。きみなら大丈夫。」「耳せんを試してみたら?」

コメント 全て無責任である。全てズレている。全てムダである。

●もし、その生徒が日常生活の全ての場面で極度に周りが気になり色んな音が気になるのであれば、それは病の領域に入っていて、当然治療が必要である。しかし、テストのとき限定であれば、これは病ではない。従って、病院に行かずとも、その原因を分析して治すことは十分可能である。

●では、原因は何か?

①気質的に、もともとと敏感で心配性である。

②勉強が足りないこと、学力が足りないことを(無意識のことが多くが)自分では分かっている、常に不安である。

③単語をおぼえたり同じ問題集をくり返したりと単純な作業はしているが、総合的な



問題を解くという経験が決定的に不足している。

④英文を読むとか現代文を読むとか、その行為をきちんと教わっていない。例えば、模試のときに、ひたすら英文を頭の中で音読している生徒もいて、本人はそれでも一生懸命やっている。

⑤以下多数……。

●この仕事を始めて三十年以上が経つが、実はこういう分析ができるまで紆余曲折があった。結果的に、ある

同僚のおかげで、様々な本を読み、自分の「神経症」的気質が理解できたこと。特に「森田療法」の本に出会えたこと。「神経症の時代」

にはずいぶん助けられたこと。こうして自分のことが理解できるようになって、やっと生徒達に寄り添う余裕とその力が少しずつ育ってきたと思う。しかし、私の気質は変わらない。多分これからも変わらないと思う。

●ところで、授業ではよく話すことだがこうして紙面に載せるのは、初めてかもしれない。実は私には、こわい場所がいくつかある。マンションとかビルの屋上とか。特にそこが未知の場所だと覚悟がある。跳びおりの自分が頭にうかんでしまうのである。だから、覚悟がある。深呼吸をたくさんして頑張る。もっと生きるために。でも、きつと私は跳びおることはしない。還暦をすぎたが、ようやく自分の使命を見つける



ことができたこと。そして、その使命を果たすことが自分の生きがいになりつつあること。また、九十九歳の母、兄弟、子供達、

孫達、友人……。こういうひと達ともっともつと一緒に過ごしたいと切に思うこと。こうした思いがきつと私を更なる生へと向かわせてくれる。そして、その同僚のおかげで、その死への誘惑の正体が自分なりに明確になったことも大きい。因みに、槍ヶ岳、北岳など三千メートル級の山にずい分登ったが、そのときは先程の衝動とは無縁である。必死で生きることを楽しんでいる。

●こういう私であるから、生徒達の様々な悩みもそれなりに受けとめてあげようとする気になる。面倒くさいと思うことも少なくないが、そのときは役目として向き合う。基本的には、敏感な人好き。行き詰っている人大歓迎である。

●話がずい分、ずれてしまったので、元にもどそう。「テストに集中できない」生徒の悩みは勿論、切実である。では、どうすればいいのか?次号から解きあかしていきたいと思う。(次号へ)

秋も深まり、私立入試までの残り日数は一〇〇日を切りました。みなさん、「実りの秋」を実感できていますか。

過去問演習

秋も深まり、私立入試までの残り日数は一〇〇日を切りました。みなさん、「実りの秋」を実感できていますか。



(小林)

「一学期と比べて、偏差値が十五上がった!」

「五科合計点が一〇〇点上がった!」

なんて嬉しい報告をしてくれる生徒もたくさんいますが、中には、なかなか結果が出ずに悩む生徒も……。

練習の成果というのは、たいてい少し遅れてやってきます。この少しというのが非常に厄介で、練習と成果のタイムラグに個人差があるものだから、成果が早く出た人と比較して「なぜ自分は」と悩んでしまう。場合によっては「自分は頭が悪いから無理」なんて根拠もない幻想に囚われて目標を諦めてしまう。成果が出るまであと一歩かもしれないのに……。

質、量ともに胸を張れる練習を継続できているのであれば、成果が出るのは時間の問題です。揺るぎない信念をもって、成果が出るまでやり続けよう。あなたのその努力が報われるのは明日かもしれません。

ところで、練習には大きく分けて二つの種類があることを知っていますか。ひとつは「実力をつけるための練習」です。みなさんが普段取り組んでいる宿題、小テスト、そして副教材の多くはこれに該当します。これらに対して誠実に、継続して取り組むことで実力がついていきます。

ただ、実際のところ、実力はあるのに上手く本番で力が発揮できない人も多くいます。



そこで重要になってくるのが二つ目の練習。「実力を発揮するための練習」です。この練習の充実度合いが試験本番の得点力、そして合格力に大きな影響を与えます。

筆記試験に合格するために必要なのは「与えられた時間内に合格基準点以上の得点をとる能力」です。「八時間あれば満点がとれる」だという意味がないし、そもそも、たいていの試験の場合、満点を取る必要はありません。

例えば合格ラインが「七〇点」の試験を受けるとして、「七〇点を目指す」ということは「三〇点分は出来なくて良い」ということです。こういった試験の場合、与えられた時間内で「正解する必要がある問題」と「正解できなくていい問題」を取捨選択し、優先順位を考えながら解答していく能力が必要不可欠となります。

では、みなさんが実践する「実力を発揮するための練習」とは具体的に何でしょうか。そう。「過去問」です。公立高校入試、私立高校入試、英検、漢検、数検、その他資格試験。あらゆる試験の「合格のカギ」となるのが「過去問演習」です。

特に私立高校の入試問題の場合、難しくすぎて正解するのが非常に困難な問題が含まれていることが多くあります。合格ラインに到達するためにはどの問題を正解しなくてはいけないのか。そして、どの問題が「今



は出来なくてもいい問題」なのか。その判断力を養うために、過去問を解いた後は必ず担当講師のノートチェックを受け、アドバイスをもらうようにしましょう。

私立高校の入試問題は学校ごとに異なるので、当然一律に指導することが出来ません。生徒一人ひとりに対して個別に指導していくこととなります。創学舎では、授業形態こそ集団とパーソナルに分かれていますが、「二人ひとりを大切にし、細かくケアする」のはどちらも一緒です。ですから、集団の教室でも場面に応じて個別指導を行っています。合格力をつけるには、こまめにノートチェックを受けることがカギです。生徒の皆さん、我々講師をフル活用して、ぜひ自身の成長に繋げてください。(高寺)

「準備」と「用意」の違いを説明できますか

先日、新柏教室の佐々木先生と二人で、面白い科目ランキングを勝手に作成してみました。ちなみに、佐々木先生も私も数学科の講師で、主に数学と理科の授業を担当しています。私の面白い科目ランキングは、一位 英語、二位 数学、三位 国語。佐々木先生の面白い科目ランキングは、一位 数学、二位 英語、三位 国語。普段は数学と理科を教えている二人ですが、不思議なことに上位三科目に英語、国語がランクイン。ただし、繰り返しますが、こ



れは得意な科目という意味ではなく、面白い科目という意味です。二人で、「語学はとも奥が深く面白」と大いに盛り上がりました。

唐突ですが、ここでみなさんに質問です。「用意する」と「準備する」の違いが説明できますか？私はこれらの言葉の使い分けを知らずに、「授業の準備しよう」といつも口にしていました。しかし、これは誤った言葉の使い方だということを、恥ずかしながらつい先日知りました。「用意」と「準備」はどちらも物事に備えるという意味があり、国語辞典にも同義語のよう



うにかかる時間や労力の大きさで使い分けられる場合は「用意する」、時間や手間がかかるときには「準備する」となるそうです。そうすると、授業開始時に授業の準備を始めたのならなかなか授業を開始できないという困った状況になってしまいますね。ちなみに、「上がる」と「登る」も同じように使い分けるそうです。「階段を上がる」、「山を登る」。どちらが時間や費やす労力が大きい目瞭然ですよ。英語も同じように紛らわしい意味を持つ表現がいろいろあります。それを知らずに学校で習った表現をそのままネイティブの人に使ったら嫌な顔をされてしまうこともあるそうです。相手に手伝ってほしいとお願いするときに、「Would you help me?」や「Could you help me?」を使っ

て、「手伝ってもらえますか。」となると教わりました。しかし、これらの言葉も使い分けを理解しておかなければいけません。なぜなら、wouldの文は失礼な表現ととられることも多くあるそうです。wouldの文は、相手の都合を考えずに、手伝ってくださいと押し付けるような(手伝う意思があるか否かを確認する)意味を持ち、それに対しcouldの文は、相手の都合を確認するため(手伝うことが可能か否か)に使われる表現だそうです。そのため、couldの文で相手は今手伝える状況かどうかを確認した後に、wouldの文で手伝ってほしいと二段階に分けて依頼するのが失礼のないお願いの仕方だそうです。言語は、とても奥が深く面白いですよね。みなさんは、日頃から正しい言葉の使い方をできていると胸を張って言えるでしょうか。また、自分の思いを伝えたいときに、相手に複数の表現で伝えることができるでしょうか。周りの人がどのような言葉を使って話しているのか、ぜひ耳を傾けてみてください。(上田)



創学舎のブログ公開中!
創学舎ではブログを公開しています。高校受験情報など有益な情報も盛りだくさんです。ぜひご覧ください。
<http://sougakusha.blog.jp/>

